

倉橋賞を受賞して

藤井 清子
赤羽 まり
丹羽 輝子

私どもは、私たちの住んでいる世界を愛し、また大切にすることを子どもたちに知らせたいという願いを常に持っています。M

USIC MAKINGの活動をした年の二年前、ちょうど人間が初めて月に行った時、子どもたちの興味は当然のように、宇宙に向きました。そのため逆に月のことをいろいろ知った上で、地球を改めて見直す、「地球へ帰ろう」と言う劇遊びが始まり、翌年は、地球の自然について「木と小鳥と私たち」と言うテーマで活動しました。そして、もっと身近な、MUSIC MAKINGの活動に移って来たのです。

私たちの平素の生活のなかでこれらの活動をまとめた発表が、思いがけない賞をいただき、大変光栄に思いますとともに、これからの保育に一同大きな自信と希望を与えられました。毎日している小さなことが、積重なって、大きな物へと発展していくこと、楽しんでいただけだった物が創作に変わって行くこと、それ

らを体験した子どもたちと一緒に、この喜びをわかち合いたいと思っています。

また、MUSIC MAKINGは、東洋英和短期大学保育科の芝助教授が長い間、研究されて来たことの一部の実践であったため、養成機関と現場との結びつきの困難さが問題となっていた時に、この賞をいただいたことは、両方の立場から大変意義深いことだと思っております。今後も、この努力を続けたいと願っております。

今回はMUSIC MAKINGを取り上げましたが、これからも、創造活動の一環として、言語、絵画製作その他の面を取り上げて見たいと考えております。しかしこれは、あくまでも、子どもたち一人一人の個性を大切に、創造的な生活態度を身につける生活があつてのことだと思っておりますので、私ども一同、これらのことを心にとめて、保育をしたいと願っております。